

1. 隣県及び県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応

豊後大野家畜保健衛生所

○里秀樹・磯村美乃里・(病鑑) 人見徹・木下正徳

2010年、国内では11月29日に島根県での発生を皮切りに24例の高病原性鳥インフルエンザ(以下HPAI)の発生があった。そのうち国内8例目(宮崎県延岡市)、11例目(大分県大分市)及び19例目(宮崎県延岡市)の発生については、当家保管内の一部が移動制限区域に入り、HPAIの防疫対応を実施したので報告する。

1 宮崎県延岡市北川町(国内8例目) 発生年月日:2011年1月28日

佐伯市宇目の一部が移動制限区域に入り、100羽以上の5農場と小規模農家1戸が該当した。種鶏農家2戸と小規模農家1戸は採卵中で、即日出荷停止とした。肉用鶏農家3戸のうち、2戸は育雛中、1戸は入雛直前であった。消毒ポイントは、宮崎県との幹線となる国道10号及び326号を重点に5カ所設置した。

1月29日と2月9日に発生状況及び清浄性確認検査を宮崎県と同日に実施し、その陰性結果を受けて2月4日に移動制限区域が縮小され、2月14日に搬出制限区域が解除された。同時に、種鶏農家では鶏卵の保管に限界がきており一時保管施設への移動を実施した。2月21日に移動制限区域は完全解除されたが、保管鶏卵11.4トン(3月2日に焼却処分した)。肉用鶏農家2戸は、宮崎県下のHPAI続発を受けて出荷先が無くなり出荷が遅延した。

2 大分市宮尾(国内11例目) 発生年月日:2011年2月2日

発生当日、当所から職員2名が発生農場に動員され初動防疫作業に従事し、他職員は当家保に備蓄していた防疫資材等の搬出など支援作業に従事した。

豊後大野市犬飼町の一部が移動制限区域に入り、小規模農家10戸が該当し、翌日、立入検査により異常無いことを確認した。消毒ポイントは、道路状況により設置無し。

3 宮崎県延岡市北浦町(国内19例目) 発生年月日:2011年2月16日

佐伯市蒲江の一部が移動制限区域に入り、小規模農家5戸が該当した。しかし、発生当日、佐伯市宇目に拠点を置く飼料運搬業の車両が発生農場に立ち寄っていたことが判り、翌日、佐伯市宇目の9農場を疫学関連農場として立入検査を実施した。また、清浄性確認検査は異常無し。消毒ポイントは国道388号線に1カ所設置した。

4 まとめ

5月26日、最終の清浄性確認検査の結果を受けて完全終息となった。幸いにして当家保管内でのHPAIの発生は無かったが、佐伯市宇目の養鶏農家は、宮崎県内のインテグレーションの傘下にあつたためHPAIの続発を受けて移動制限区域の内外を問わず出荷が出来ず大きな経済的損失を受けた。今後(今後)に備えて県防疫ガイドラインの見直しを行うとともに備蓄防疫資材の拡充も行い、万が一の場合の備えを強化している。